

埼玉と世界をつなぐ

Friendship News

No.137 / 2024年 夏号

✈️ フレンドシップニュース



世界へのトビウ事業 小学校での国際理解授業



ラオスの新年「ピーマイン」

Contents

- データで見る「埼玉県に暮らす外国人」 ▶ P. 2
- 令和5年度事業報告 ▶ P. 3～5
- 令和6年度「彩の国さいたま国際協力基金」 ▶ P. 6
- 外国人留学生と子どもとの交流イベント（募集）
- 世界の国からこんにちは（ラオス編） ▶ P. 7
- JICA埼玉デスクからのお知らせ
- 日本語を母語としない子どもと保護者の ▶ 裏表紙
- 高校生進学ガイダンス2024 案内
- 各種お知らせ

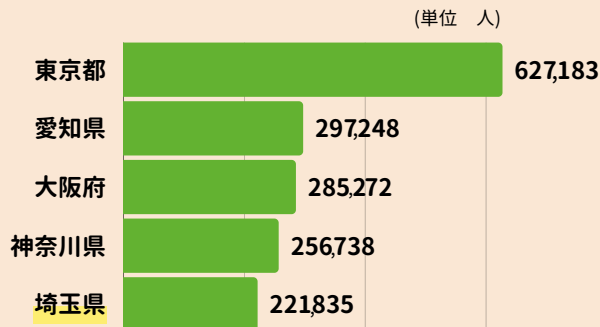


公益財団法人
埼玉県国際交流協会
Saitama International Association

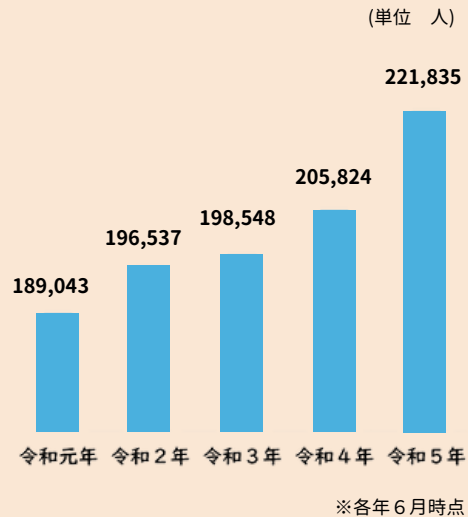
埼玉県には、令和5年6月の時点で221,835人の外国人が暮らしており、過去最多を更新しています。今回は様々なデータを通じて、埼玉県に暮らす外国人の状況についてご紹介します。

都道府県別 在留外国人人数

全国第 **5** 位



在留外国人数の推移(埼玉県)



在留外国人の県人口に占める割合は約 **3** % !

164 の国及び地域の方々が暮らしています。

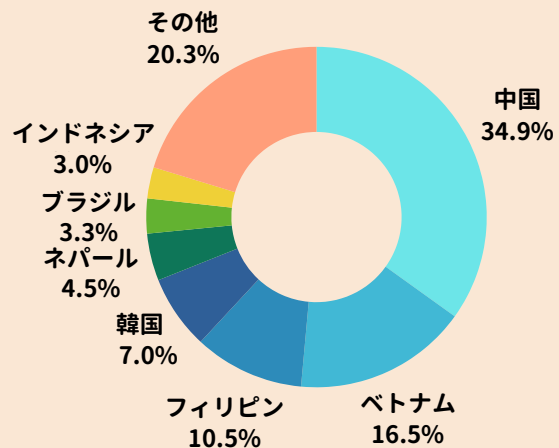


埼玉県内 在留資格別人数

(単位 人)

永住者	71,979
技術・人文知識・国際業務	27,969
家族滞在	23,568
技能実習	19,622
留学	14,419
定住者	13,822
日本人の配偶者等	11,038
特定技能	9,980
特別永住者	8,164
特定活動	5,876
永住者の配偶者等	5,360
その他	10,038

埼玉県内 国籍別在留外国人人数割合



全国で5番目に在留外国人が多い埼玉県。県民の約31人に1人は外国人です。国や地域も幅広く、在留資格の種類も様々です。世界中のいろいろな国や地域から縁あって埼玉県に集まった人々が、それぞれの個性を生かして活躍する、いざい豊かな社会を共に築くことを目指し、当協会では日々様々な事業を行っています。

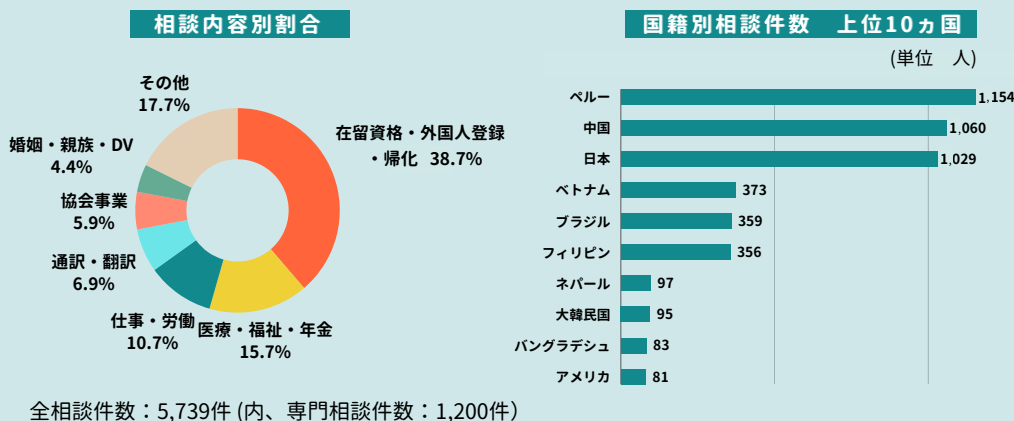


埼玉県の在留外国人数は過去最高を記録し、県民の約31人に1人が外国人という高い状況になっています。このような状況の中、公益財団法人埼玉県国際交流協会では、計画の柱である「多文化共生社会の実現と県内在留外国人への総合的な支援の推進」「国際的に活躍できる人材の育成」「国際交流・国際協力の促進」の三つのミッションを最大限に果たすべく次のような事業を実施しました。

外国人総合相談センター埼玉の運営

県内在留外国人を支援する相談窓口として「外国人総合相談センター埼玉」を設置し、電話で外国語（12言語）とやさしい日本語による生活相談や、公共機関窓口との電話による仲介通訳を行いました。また、出入国制度や法律に関する相談に対応するため、対面相談を中心とした専門相談を実施しました。

さらに、外国人相談に従事している相談員を対象とした研修会を実施しました。



無料相談
☎ 048-833-3296
月曜日～金曜日
9:00～16:00

【対応言語】

英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ウクライナ語、ロシア語、やさしい日本語

以下の専門相談も行っています。

入管相談 月・水・金
9:00～16:00
労働相談 毎月第3火曜日
13:00～16:00
法律相談 毎月第4木曜日
13:00～16:00
福祉相談 随時

高校進学ガイダンス

日本語を母語としない外国にルーツを持つ生徒の高校進学を支援するため、「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を大宮ソニックシティ（市民ホール）にて開催しました。ガイダンスでは、高校進学に関する資料を7言語（日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）で作成・配布しました。

【ガイダンスの内容】

前半	【全体会】入学試験、学費などの説明、先輩の体験談
後半	【個別相談】学校別ブース(公立高校15校)、奨学金ブース、日本語教室紹介等



225人(20カ国)が
参加しました！

中学生オンライン日本語教室

令和5年度より、日本語を母語としない中学生のためのオンライン日本語教室がスタートしました。県内6市11校の生徒が参加しました。

【事業の目的】

- ①日本語に触れる機会を少しでも多く提供し、日本語で発話する時間を増やすこと
- ②小さな課題をクリアすることにより多くの成功体験を積んでもらうこと
- ③同じような立場の生徒同士のつながりの場を提供すること

全11回開催、延べ94人の
中学生が参加しました！

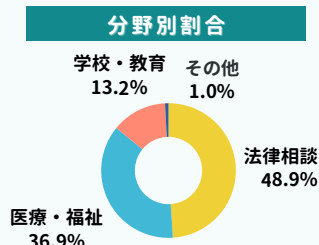


通訳・翻訳ボランティアの紹介

弁護士による法律相談や、病院、教育機関等の公的機関等からの依頼に対し、協会に登録いただいている通訳・翻訳ボランティアを紹介しました。

ボランティア登録者数
1,297人 (35言語)

紹介件数
241件



外国人のための災害時支援

大規模災害発生時、迅速に県内在住の外国人に対し多言語での情報提供ができるよう、市町村、市町村国際交流協会及びボランティアを対象に、シミュレーション訓練を行い、68人が参加しました。

市町村の担当者や協会通訳・翻訳ボランティア等を集めた連絡会議では、外国人とともにつくる“誰ひとり取り残さない災害対応”に関する講演会や情報交換を行い、59人が参加しました。

新たに来日し、日本での生活をはじめた外国人の方々が、最初に地域とつながる場所の1つとして、地域日本語教室があります。日本語を学ぶだけでなく、地域住民と交流する場として大切な役割を担っています。協会では、在住外国人が日本語学習環境にアクセスしやすい環境を整えるため、以下の事業を行いました。

日本語教室ボランティア向け研修会

- 初心者向け講座 入門編 1回
実践編 3回
- 経験者向け講座 3回
- 課題別講座 1回

参加者合計 529人

地域日本語教室 相談・立上げアドバイザーの派遣

地域で新しい日本語教室の立ち上げや、既存の教室のより良い運営について相談に乗り助言を行うアドバイザーを、6市・団体等に派遣しました。

日本語教室支援協議会の開催

地域日本語教育を推進するための取組について協議や情報発信を行うための協議会を、年2回開催しました。

県内NGOの活動発表や外国人等との交流を通して、国際交流・国際協力活動に対する県民の理解増進を図るため、埼玉県国際NGOの祭典「国際フェア」を4年ぶりに開催し、NGO等32団体が出展しました。展示やワークショップ等を通して、県内で活動するNGOの取組や海外の現状を伝えました。

コープみらいなどと連携し、4つのイベントの同時開催とし、会場のさいたまスーパーアリーナには約2万5千人の方々が来場しました。

国際フェアの内容

- ・県内を拠点とするNGOの活動紹介
- ・世界の料理や民芸品の販売
- ・民族舞踊や音楽などのステージ発表
- ・国際理解ワークショップの開催



グローバル人材育成センター埼玉（GGS）の大学会員の外国人留学生や、国際交流基金日本語国際センターの研修参加者を対象に、ホームステイボランティアとして登録のある県内家庭を紹介し、ホームステイを実施しました。留学生や研修参加者に日本の家庭や文化について知っていただく機会として、また日本人が外国を身近に感じ文化に触れる機会として、国際交流を行いました。また、ホストファミリー向けの研修会も開催しました。

GGS会員大学留学生との交流

1泊2日のホームステイを計3回実施
参加留学生：10大学105人
参加家庭：86家庭

日本語国際センター研修参加者との交流

1泊2日のホームステイを5回、1日のホームビジットを1回実施
参加研修生：120人
参加家庭：110家庭



県内に拠点を持つNGOが行う草の根の国際協力活動を支援する助成金「彩の国さいたま国際協力基金」。令和5年度は、海外協力事業・県内協力事業合わせて10事業に対し、計3,653,647円の助成を行いました。

海外協力事業

7団体 7事業

県内協力事業

3団体 3事業

活用事業例

- ・バングラデシュにおける気候変動に適応した稲品種の種子生産体制の構築事業
- ・ニジェール紛争難民の生活・学習機会提供のためのInna Houseにおける難民救助強化事業
- ・県内における外国ルーツ青少年進路支援事業

国際理解教育を推進するため、県内の小・中学校、高等学校等の教育機関や公民館等に、外国人講師や日本人講師を派遣する「世界へのトビラ」事業を実施しました。全32事業に延べ145人の講師を派遣し、計5,590人が参加しました。

実績

- ・小学校：5件
参加児童数：492人
- ・中学校：15件
参加生徒数：3,094人
- ・高等学校：7件
参加生徒数：1,920人
- ・公民館等：5件
参加者数：84人





協会ではグローバル人材育成センター埼玉（GGS）を運営し、日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後までをトータルに支援し、グローバル人材の育成を推進しました。

「埼玉発世界行き」奨学金

海外留学を志す若者が家庭の経済的理由等により海外留学を断念することがないように、返還の必要がない給付型の奨学金「埼玉発世界行き」奨学金の奨学生を募集し、一般奨学金と寄付をいただいた企業や個人等の名称等を冠した冠奨学金により計 123 人の留学を支援しました。

奨学生壮行会・同窓会の開催

奨学生壮行会及び留学を終えた奨学生の同窓会を開催し、102 人が参加しました。帰国した奨学生からの報告や令和 5 年度奨学生代表者による決意表明、埼玉親善大使委嘱状授与の他、奨学生OBによる講演会を行い、留学経験がその後のキャリアにどのように生かされているのかについてお話をいただきました。

留学準備セミナー

留学への機運を醸成することを目的として、留学相談・情報提供等を行う「留学準備セミナー」を開催し、80 人が参加しました。



企業インターンシップの紹介

学生の県内企業等に対する理解を深め、将来のキャリア形成に資するため、インターンシップを実施する会社等に関する情報提供を実施しました。

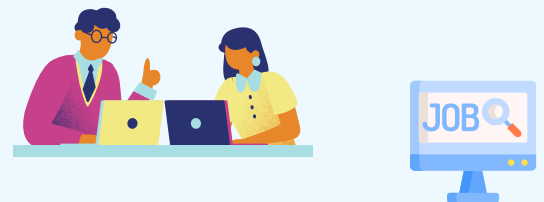
グローバル人材向け就職説明会

就職活動中の外国人留学生等を対象に、埼玉労働局や埼玉県と連携し就職説明会を 3 回開催しました。その他、オンラインによる会社説明会を独自で開催しました。

就職相談

就職マッチング＆フォローアップシステムの運用等により無料職業紹介を実施するとともに、GGS 大学会員への巡回相談等を実施しました。

- 学生登録者：638 人
- 求人登録：900 人
- 県内企業への内定：35 社 41 件
- マッチング件数：117 社 1,433 件
- 就職相談：965 件
- 巡回相談：4 大学 66 人参加



企業留学生OB・OG訪問ツアー

埼玉県にゆかりのある企業を外国人留学生が訪問しその企業から説明を受けるとともに、勤務している先輩社会人にインタビューできる座談会の場を設けました。

グローバル人材向け就職ガイダンス

就職活動が遅れがちな帰国後間もない日本人留学生と外国人留学生のために、就職ガイダンスを 3 回開催し、自己分析や企業選択方法、就職活動に必要な情報を提供しました。参加学生：84 人

県内企業向け外国人留学生採用支援セミナー

外国人留学生採用の先行事例の紹介や専門家による採用に関する留意点の講義等を通じて、県内企業の外国人留学生の採用意欲向上を促しました。参加企業：39 社

※協会ではここでご紹介した事業以外にも、彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークの運営や、国際交流プラザの運営、クイックフォトスタジオの運営等、多岐に渡る事業を行っております。詳細・最新の情報につきましては、協会公式ホームページをご覧ください。

令和6年度「彩の国さいたま国際協力基金」助成団体募集中

県内に拠点を持つN G Oが行う草の根の国際協力活動を支援する助成金の申請の受付を、5月29日（水）から開始しました。

この助成事業は、県民の皆様の寄附などを財源に当協会に設置した「彩の国さいたま国際協力基金」によって、平成7年から運営されています。助成金の対象となる事業は、海外協力事業と県内協力事業です。

昨年度は、ラオスにおける女性・青少年の自立のための高齢者介護職業訓練や、外国ルーツの青少年が将来、自立して生活し、自らのキャリアを描けるようになるための支援事業など、10の事業に支援を行いました。

協会は「地球上の誰一人として取り残さない」持続可能な開発目標（SDGs）の取組の一つに、この「彩の国さいたま国際協力基金」助成事業を位置付け、埼玉発の国際協力事業を支援します。

応募期間は残りわずかですが、皆様からの積極的なご応募をお待ちしています。



令和6年度
**彩の国さいたま
国際協力基金**

国際協力活動を行う埼玉県内の団体を応援します

海外事業50万円 ✓
国内事業20万円 ✓
※助成率最大50%

募集期間：令和6年5月29日(水)～6月28日(金)

☎ 048-833-2992
🌐 <https://sia1.jp/international/assist/>
✉ jigyo@sia1.jp



詳細は上記QRコードから協会HPをご覧ください。

子ども食堂やプレーパークなど子どもの居場所作りをされている 皆さまへ！外国人留学生と子どもの交流イベントを実施します！



グローバル人材育成センター埼玉（GGS）では、県内大学に在籍する外国人留学生が訪問し、母国の文化紹介を通して子ども達との交流を楽しめる場所を探しています。参加する子ども達に、外国の文化を知ってほしい、外国人留学生と交流する機会を持ちたい、というご要望があればお気軽にお問い合わせください。

皆さんのもとに訪れる外国人留学生は子どもがとても大好きで、積極的に交流します。団体の皆様やそこに通う子どもたちと皆で楽しい時間を過ごしましょう！

●お問い合わせ先：
グローバル人材育成センター埼玉
048-833-2995





世界の国からこんにちは



ラオス編

水掛けで祝う、ラオスの新年

ラオスの新年は「ピーマイ」と呼ばれ、毎年4月13日～15日の一番暑い時期です。今年は土日が重なり更に1日追加され6連休でした。年により新年の休暇は変わり、1ヶ月位前の政府の発表まで分かりません。

4月はどこもお祭り騒ぎで仕事になりません。お祭り好きの国民性です。ラオスの主食はお米で農耕民族です。お祭りでは水掛けがあり、雨期直前の雨乞いと新年の豊作の祈り、前年の厄払いを込め悪事を流し良い新年を迎えるという意味もあります。

13日は旧年最後の日。日本の大晦日に相当し家中で掃除をします。そして聖水を作り仏像に掛け1年を洗い清めます。更に「ソンパ」と言われる祖先や年長者を敬う大事な儀式があり、若者が仏像を洗った水を年長者に掛け、仏様の徳を頂戴し、幸福・健康・繁栄や長寿を祈ります。そしてこの日はお墓参りもします。

新旧の中日14日は働かず、睡眠も摂りませんでしたが、今ではその習慣は徐々に廃れてきているようです。

3日目の15日は新年です。3日間で人々は9カ所のお寺をお参りし、仏像に水掛けをするのが良いとされています。ところが道は混雑し、車の交通制限もあり、なかなか9カ所も回れません。街では家の水道からホースを取り出し、町ゆく人やバイク、車に水を掛けるので、みんなびしょびしょになります。幸い40度を超える暑さで、洋服はすぐに乾きます。コロナ禍明け2年目の今年は以前のような水掛けが見られると思いきや、意外と静かでした。

首都ビエンチャンの中心地では水掛けが盛んに行われましたが、他の場所ではあまり見かけなかったということでした。50万人以上の若者が海外に出稼ぎに行き、少なくなっているのも原因かもしれません。

街全体が世界遺産になっている北部の古都ルアンパバーンは観光客も多く、1975年の革命で一時廃止されていた正月パレードが、1986年から王政時代のように復活し、今年は、さらに盛大になったようです。

「暮らす」目線で見ると・知る海外。埼玉県にゆかりがあり、海外でご活躍されている方から、その国のことを紹介いただく本企画。

今回は、アジア各国で職業訓練・職業教育を通じ、女性・青少年の自立を支援する国際協力NGO・IV-JAPANの代表理事・富永幸子さんに、活動国の1つラオスにて、一年で最も暑い時期を迎える新年「ピーマイ」について紹介いただきました！

サバイディー
ສະບັຍດີ
(ラオス語でこんにちは)



JICA埼玉デスクからのお知らせ

Maayong hapon! (こんにちは!) ※ヴィサヤ語
JICA埼玉デスクの高橋です。今回はJICA海外協力隊の春募集についてお知らせします。

JICA海外協力隊は開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献し、草の根外交の担い手として派遣国の発展、各国との友好・信頼関係の強化のため日本と世界をつなぎます。

私自身、大学生の時に海外協力隊として派遣されていた高校の恩師を訪ねサモアに行きました。現地の方に寄り添い活動している恩師の姿がとても印象的で「国際協力」に興味を持つきっかけになりました。

私たちの住む埼玉県からも多くの隊員が世界に飛び立ち活躍しています！みなさんの持っている知識、技術、経験などを世界で生かしてみませんか？



恩師の学校訪問（サモア）



埼玉県出身のJICA海外協力隊



春募集

受付期間

5・17・7・01

オンラインや首都圏で説明会を実施しております。

是非ご参加ください！

お問い合わせ



JICA埼玉デスク 高橋

jicadpd-desk-saitamaken@jica.go.jp

▼ JICA海外協力隊 2024年春募集！

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

▼ 募集説明会も全国＆オンラインで開催中！

<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>



にちじ
日時

がつ にち とうび
8月3日 (土曜日)

だい かい
【第1回】 13:00~14:30 (受付 12:40~)

だい かい
【第2回】 15:00~16:30 (受付 14:40~)

だい かい だい かい おな ないよう
第1回と第2回は同じ内容です！
さんか ひむりよう
参加費無料

かいじよう
会場

そ にっく し て い び る かい し ゐん ぼー る おおみやえきにしくち とほ ふん
ソニックシティビル 4階 市民ホール (大宮駅西口 徒歩5分)

ないよう
内容

ぜんたいせつめい こうこうしんがく せつめい せんばい たいけんだん
【全体説明】 高校進学の説明、先輩の体験談

こべつそうだん がっこう しょうがくきん がくひ そうだん にほんごきょうしつ
【個別相談】 学校ブース、奨学金・学費の相談、日本語教室 など

たいおうげんご
対応言語

にほんご えいご ちゅうごくご すべいんご ぼるとがるご たがるぐご
日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、
ベトナム語、ネパール語

もうしこみ
申込

がつ にち かようび みぎ こーど もう こ
7月23日 (火曜日) までに右のQRコードから申し込んでください。

こーど つか ひと きょうかい れんらく
※QRコードを使えない人は、協会(080-833-2992)まで連絡してください。



賛助会員(個人・団体)募集のご案内

会員特典

公益財団法人埼玉県国際交流協会では、協会の活動にご理解、ご協力をいただくため、賛助会員制度を設けています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ、ご加入ください。

個人会員

埼玉県内在住・在勤の個人 (年会費 2,000円 (一口))

学生会員

埼玉県内在住・在学の学生・生徒 (年会費 500円 (一口))

団体会員

埼玉県内に所在する企業・団体 (年会費 10,000円 (一口))
NGO会員は年会費 3,000円 (一口))

1. 協会情報紙「フレンドシップニュース」の定期購読 (郵送)
2. 協会主催事業のご案内を送付
3. 国際交流プラザ研修講座室の利用
4. 協会が運営するクイックフォトスタジオ (大宮・川越・川口・春日部) における各種証明写真撮影料金の割引
5. パレスホテル大宮、浦和椿山荘でのお食事や埼玉県物産観光館「そびあ」でのお買い物の割引、その他指定店での海外旅行用品、国内外旅行企画商品、ホテル利用料金などの割引

お申込みやお問合せについては、協会までご連絡ください。



パスポート・マイナンバーカードの
各種証明写真はクイックフォトスタジオで！



大宮・川越・川口・春日部 県内4か所
パスポートセンター隣接

5年・10年 長く使うものだからこそ、
専属スタッフによる信頼・安心の写真撮影！詳細はQRコードからご覧ください。

クイックフォトスタジオに
パンフレットを設置しませんか？

クイックフォトスタジオ各店舗には、海外へ渡航するお客様の利便を図るためにパンフレット棚を設置しています。

お土産、クレジットカード、保険のパンフレット等々、手に取ってもらえるチャンスです。
ぜひパンフレット棚を利用してみませんか？
詳細については、協会までお問い合わせください。

広告掲載について

本誌(フレンドシップニュース)への広告掲載をご希望の団体・企業様は、協会までお問い合わせください。

2024年 夏号 (6月発行)

公益財団法人 埼玉県国際交流協会 Saitama International Association

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-833-2992 / FAX: 048-833-3291 / Eメール: sia@sia1.jp

WEB: https://sia1.jp/ 本誌バックナンバーはこちらから➡



https://sia1.jp/t-pu-f/



コバトン
さいたまっち